

止しゃ剤
日本薬局方 タンニン酸アルブミン
タンニン酸アルブミン「メタル」



止しゃ剤

日本薬局方 タンニン酸アルブミン
タンニン酸アルブミン「メタル」

Albumin Tannate
(タンナルビン)

たん白質の基原：乳性カゼイン

500g

**製造販売元



中北薬品株式会社

愛知県津島市白浜町字番場52-1



箱



**2010年6月 改訂 (第3版)
*2002年6月 改訂
日本標準商品分類番号 872312
承認番号 16100AMZ02397
薬価収載 薬価基準収載
販売開始 1986年4月
再評価結果 1981年8月

貯法：遮光し、室温保存
使用期限：箱に表示

- 【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】
- (1)出血性大腸炎の患者 [腸管出血性大腸菌 (O157等) や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある。]
 - (2)牛乳アレルギーのある患者 [ショック又はアナフィラキシー様症状を起すことがある。]
 - (3)本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【原則禁忌 (次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)】
細菌性下痢患者 [治療期間の延長をきたすおそれがある。]

【組成・性状】
組成

本品1g中に日本薬局方タンニン酸アルブミン1gを含む。
本品はタンニン酸とたん白質との化合物である。
*たん白質の基原は乳性カゼインである。

製剤の性状

本品は淡褐色の粉末で、においはいか、又はわずかに特異なにおいがある。

【効能・効果】
下痢症

【用法・用量】

タンニン酸アルブミンとして、通常、成人1日3~4gを3~4回に分経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)
肝障害のある患者 [肝障害を悪化させるおそれがある。]

2. 相互作用

(1)併用禁忌 (併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
経口鉄剤	併用により相互に作用が減弱することがあるので併用をしないこと。	鉄と結合し、タンニン酸鉄となり、タンニン酸による収れん作用が減弱する。

(2)併用注意 (併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
*ロペラミド塩酸塩	ロペラミド塩酸塩の効果が減弱するおそれがあるので、投与間隔をあけるなど注意すること。	本剤がロペラミド塩酸塩を吸着するためと考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1)重大な副作用

ショック、アナフィラキシー様症状 (頻度不明) : ショック、アナフィラキシー様症状を起すことがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、蕁麻疹、顔面浮腫等の過敏症状あるいは気管支喘息発作等の症状が発現した場合は投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
長期・大量投与 ^{注)}	肝障害
消化器	便秘・食欲不振

注) 長期又は大量投与を避けること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

【取扱い上の注意】

配合変化: アルカリにより分解する。
抱水クローラルやヨウ化物と混合すると湿潤する。

【文献請求先】

**中北薬品株式会社 製薬工場事業部
〒496-0016 愛知県津島市白浜町字番場52-1
TEL 0567-32-1431
FAX 0567-32-2961

製造番号

使用期限

B